

柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会・運営委員会

平成15年6月28日(土) 広報センター・研修室

出席委員：新野・今井・川口・武本・渡辺(丈) 計5名

進め方

- ・月に1回で求められているチェック機能を果たすにはどうしたらいいか。東京電力の仕事の流れを把握し、一つの事例で実践してみて、こういう方法なら正しくやられているか確認できると思う。教育訓練が大事だがきちんとやっていることを検証できるものが品質保証システムにあるはず。
- ・ルールが曖昧という思いがある。東京電力が提案した地域情報会議ではまずいので基本は常に確認しないとまずい。
- ・24人のメンバーをまとめるのは大変。何を知りたいか、何を疑問に思っているかが出てこないテーマを絞るのも大変と思う。
- ・与えられたテーマについて考えてきて参加するという点が大切と思う。
- ・メインテーマを24人に示して、それについて会を進められる場合、テーマの決め方が難しく、進め方に関してみなさんが同調するような意見が述べられるかが心配。
- ・結論は出なくても、議論されることが重要。
- ・東京電力の説明の社内はこう変わり、検査はこうだなどは普通の人には関係ない話で、何のためにやっているかという思いがある。言いたいのは今まで信頼していた人にとってこんなはずではなかったという思いがあるはずで、どこが間違っていて、今後、そこをどういう風に変えたということとはみんなが納得するような説明が必要。それなのに言っていることは学会でやればよいような内容。議会はともかく、一般の人に対してどういうつもりか。漏えい密試験、シュラウドや再循環配管が問題と言うより、同じようなことが他にもあるのではないかが心配であり、地域の会はそういうことを言う一つの場合。専門的技術的なことは運動としては必要だがこの会での話ではない。
- ・(議長)言い放し・聞き放しの部分がある。意見をどうまとめ、それを相手がどう受け取ってくれるか心配。
- ・オープンになっていてそこで意見が出、それを相手が直接聞いたことが大事。
- ・言うことには意義があり、それに対して応えられる部分が全くないわけではないから。
- ・4号機にはひびがないが同じメーカーがその後造った2基にひびがあり、信用できない。再循環系配管について最近5年間で調べたものは除外しても良いというのが、女川や浜岡では全部調べるが、なぜここでは調べないのか。運転再開後だとタイミングを失うので前に設けてもらいたい。今後も何かあれば日を調整してもらいたい。
- ・会議終了後、残れる委員で雑談をしてはどうか。

次回定例会

- ・東京電力は地域の会に情報公開することが体質が変わった証拠のような説明をしているが、結果として過去2回の会議は、東京電力が格好をつけるための口実になったのではないかと懸念。
- ・4号機が運転開始する前に4号機問題に限定した臨時会が必要と思う。
- ・定例会は月1回でなく、もっと臨機応変に設定してよいのではないか
- ・第3回は4号機の再開が7月初旬なので、6月下旬か7月の頭という設定でも良いのでは。この会は再発防止のための会なので、運転再開の時に、この会が関わらない方が不自然と思う。
- ・規約では月1回の定例会の他に、臨時会も必要に応じてとあるが。
- ・この会の目的は、東京電力の運転を随時監視していくこと。逆に4号機運転開始前に地域の会を開いたから動いたという方が説明責任を果たしたことになるのでは。
- ・その時にあるタイムリーな問題について議論することは大事だが、会の開催日時は4号機の運転再開時期にこだわらなくても良いと思う。今後、他号機の運転再開に合わせてわざわざ会議を開催するかどうかは考える必要がある。
- ・次の開催日時は変えなくて良い。次回では知識が間に合わないが、製法を変えた手続きについて

議論をしていけば次回以降に生きてくる。

- ・ タイミングを逃せば委員のせつかくの意見が反映されないので柔軟に考えても、個々の委員の考えを知ることがまず大事。
- ・ 大半の委員が日程を早めて4号機の問題を議論しようと言うなら異存無い。ただ、会の目的は再発を防止するためであり、動かすかどうかは国が認可している物。
- ・ 時間的余裕があるなら勉強しながらやっていけばよいが、時期的に間に合わなく、市民も委員もそう思うなら開催を早めては。
- ・ 6・7号機も運転再開前に会を開いてもらいたかった。自分の組織でも会に参加するなという意見が多く、今回は運転再開前に開く必要がある。
- ・ (議長)事務局で早くできるよう日程調整して欲しい。
- ・ (事務局)早める理由が必要であり、一連の国や東電の公式の説明会終了前が良い。
- ・ 保安院は出席するのか。
- ・ (事務局)9日は予定していない。
- ・ (議長)可能なら日程を1週間前倒しし、テーマは4号機にしたい。
- ・ 3分の2以上の出席で開催とする。
- ・ 保安院も是非出席を。
- ・ 4号機は住民説明会を行っているのと同じ質疑では意味が無く、委員同士での質疑調整後、東電なりと質疑を交わす事にして欲しい。
- ・ 質疑を聞いてもらうだけでも意義があるので東電も最初から同席を。

運営委員会

- ・ 運営委員会は3,4回分のテーマを決め、その間の反省をする形でどうか。
- ・ テーマは今回5つ位決めて運営委員会は3,4ヶ月に1度、反省会を兼ねて開催で良いのでは。
- ・ (議長)委員はこのメンバーで良いのか。
- ・ 委員は事務局一任で良い。
- ・ テーマは事前にいくつか投げかけておき、今回はこれをやると言う形で良いのでは。

当面のテーマ

- ・ 国や県がどう・なぜ検証・承認したかが問題。その方法を議論したい。
- ・ (事務局)テーマはアンケートをまとめ、インセンティブ制度、品質保証、原子力防災を揚げさせてもらった。
- ・ 今回、急に原発停止に至った原因の検査のあり方、項目や制度を取り上げるべき。
- ・ 検査項目や制度は品質保証の中にあり、その説明を求めることはできる。
- ・ 今回の事態は検査制度の問題ではなく、原子力技術の未熟さであり、議論したい。
- ・ 東電の不適合委員会の方など一般の社員と懇談したい。
- ・ 今までにない取り組みを具体的にわかりやすく。
- ・ 東電、保安員と議論したい。話を聞いてもらうだけでも良い。
- ・ 規制行政のあり方を早く議論した方が良いのでは。
- ・ 保安院の本庁から来てもらい生で伝えたい。
- ・ (議長)次回のテーマは4号機で委員についても諮りたい。